

学童疎開した子どもたちが書いた絵日記を紹介する「絵日記に見る戦時疎開の子供たち」=18日正午ごろ、那覇市若狭の対馬丸記念館



# 疎開生活知って 那覇市で絵日記展

読んで学べる  
NIE

太平洋戦争中か  
ら戦後にかけて、空襲被害を防ぐために地方へ移った子どもたちが書いた絵日記を紹介する特別展「絵日記に見る戦時疎開の子供たち」(対馬丸記念会主催)が18日から、那覇市の対馬丸記念館1階企画展示室で開かれている。25日まで。

絵日記は、疎開先の日常を記したものがほとんどで、家族と離れた寂しさや東京が焼け野原になつたみじめさなど、子どもたちの心情を読み取ることができるので、特別展の観覧は無料で、午前9時~午後4時30分。木曜休館。問い合わせは同館8098(941)3515。

山市)、45年4月~46年の富山県福光町(現南砺市)と2度疎開しており、会場には、当時書かれた絵日記の複写パネル約70点などが展示されている。